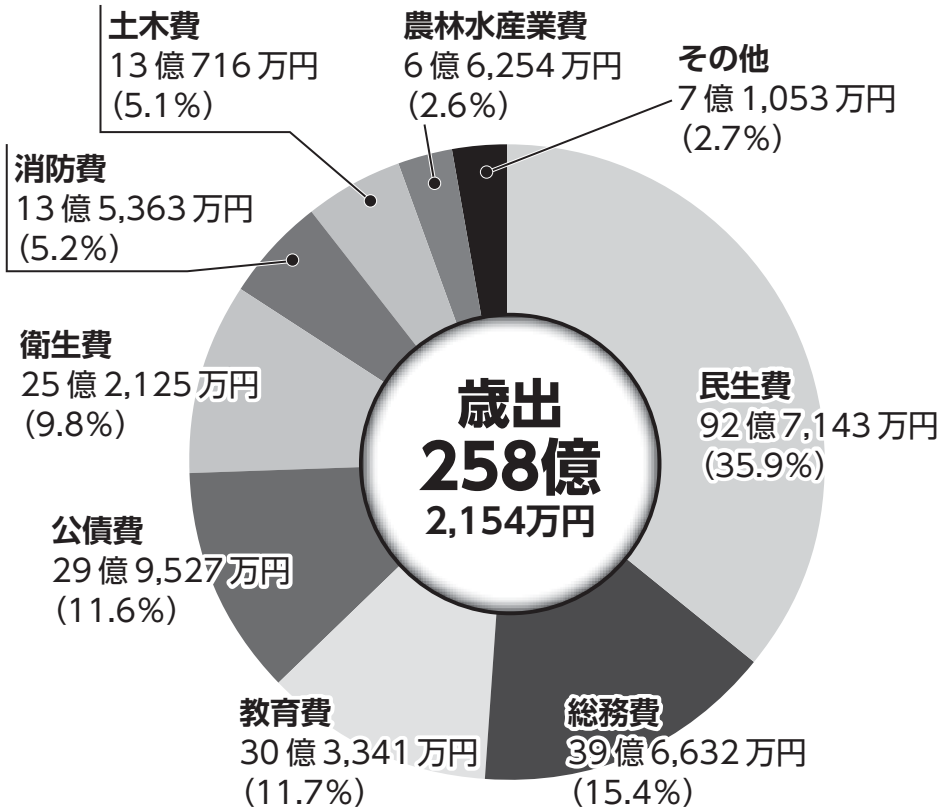


《歳出》



一般会計は、福祉や教育など基本的な行政サービスを行うための会計です。

用語の説明

- 民生費**… 障害者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのために使われるお金
- 総務費**… 財産管理、統計、税金の事務などに使われるお金
- 教育費**… 学校教育、生涯学習、スポーツ振興などに使われるお金
- 公債費**… 市が借り入れた借金などの元利償還金
- 衛生費**… ごみ処理、環境保全、コロナのワクチン接種などのために使われるお金

市債現在高

市の借金

市債（学校や道路などの整備に国や銀行などから借りたお金）の令和3年度末現在高は、一般会計と公営企業会計の総額で420億4,573万円。地方交付税として算入される額を除くと、市が実質的に負担する額は203億9,308万円で、全体の48.5%となっています。

会計名	令和3年度末現在高(1)	左のうち交付税算入見込額(2)	市の実質負担額(1)-(2)	市の実質負担割合
一般会計	266億793万円	163億4,534万円	102億6,259万円	38.6%
水道事業会計	50億7,453万円	2億1,075万円	48億6,378万円	95.8%
病院事業会計	3億5,224万円	1億3,058万円	2億2,166万円	62.9%
下水道事業会計	100億1,103万円	49億6,598万円	50億4,505万円	50.4%
合計	420億4,573万円	216億5,265万円	203億9,308万円	48.5%

健全化判断比率

5つの比率で財政の健全度を判断

数値は基準を下回っていますが、県内54市町村の中で、実質公債費比率は54位と最下位、将来負担比率は52位です。市の財政はまだ厳しい状況です。

指標	銚子市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 ▶ 一般会計の赤字割合	—	12.76%	20.0%
連結実質赤字比率 ▶ 市の全ての会計の赤字割合	—	17.76%	30.0%
実質公債費比率 ▶ 借金の返済がどれ位負担になっているか	12.0%	25.0%	35.0%
将来負担比率 ▶ 将来世代にツケを先延ばししていないか	92.8%	350.0%	

▶ 公営企業はいずれも資金不足は生じず、資金不足比率は生じませんでした。